



※6：「育苗期」，「生育期」，「収穫期」の定義については，使用予定農薬の※11を参照して下さい。

様式 1 - 1 栽培計画書②

使用予定農薬 <sup>※7</sup> (D, Fは、有効成分のうち節減対象成分のみカウントする <sup>※8</sup> )				
商品名 (有効成分名 <sup>※9</sup> )	成分数 (D)	使用回数 <sup>※10</sup> (E)	成分の総使用回数 (F = D × E)	使用時期 <sup>※11</sup> (該当を○で囲む)
農薬名 ( ○○○○ )	1	1	1	■ 消毒済(種子 or 苗)の購入 * 種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒      ■ 育苗期 ■ は種前(本圃)   ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃)   ■ 定植時(本圃) ■ <b>生育期</b> ■ その他 (*具体的に記入 )
( )				■ 消毒済(種子 or 苗)の購入 * 種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒      ■ 育苗期 ■ は種前(本圃)   ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃)   ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他 (*具体的に記入 )
( )				■ 消毒済(種子 or 苗)の購入 * 種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒      ■ 育苗期 ■ は種前(本圃)   ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃)   ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他 (*具体的に記入 )
( )				■ 消毒済(種子 or 苗)の購入 * 種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒      ■ 育苗期 ■ は種前(本圃)   ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃)   ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他 (*具体的に記入 )
【この作物の認証基準 8成分】      合計有効成分回数 1成分(F項の累計)				

※7： 農薬は、使用前に容器・ラベルの表示を必ず確認し、作物名、使用量・希釈倍率、使用時期、成分の総使用回数を守り、適正に使用して下さい。また、生産ほ場に計画外の農薬が飛散してくることはないよう、周辺生産者との連携を図り、対策がされるようご注意ください。

※8： 「有機農産物の日本農林規格(有機JAS)」の別表2に明記されている農薬、フェロモン剤、BT剤、特定防除資材、および展着剤は、成分回数に含めません。(ただし、殺虫成分を含むフェロモン剤は、成分カウントの対象となります。)  
 なお、上記以外の天然物質由来農薬は、製造メーカーや製造時期により化学合成されている場合があるため、化学合成でないことを証明できるメーカー資料を提出して下さい。(資料提出がない場合は、化学合成農薬と同様に扱います。)

※9： 薬剤有効成分が複数ある場合、(○○○+△△△)のように記載して下さい。

※10： 同一の農薬を複数回使用する場合は、使用回数(E)の欄に回数を記入し、使用時期の欄には、複数の時期に○をつけることもできます。

※11： 購入した種苗については、種苗購入前の農薬使用状況も記入して下さい。(使用時期の欄の「消毒済(種子 or 苗)の購入」の種子又は苗の当てはまる方に○をつけて下さい。)

栽培者が種子消毒を行う場合は、種子消毒に○をつけて下さい。

なお、「育苗期」は「移植栽培では種から本圃への定植まで」を、「生育期」は「本圃への種・定植の翌日～収穫前日」を表しています。いずれにも該当しない場合はその他に○をし、( )内に具体的な使用時期を記入して下さい。

また、収穫終了後の本圃に使用した場合は、直播栽培では「は種前(本圃)」, 移植栽培では「定植前(本圃)」に該当します。

・行が不足する場合は、本注釈欄を削除し、適宜行を追加してください。